

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（川内原子力発電所第1号機 設計及び工事の計画の認可申請（緊急時対策棟接続工事））【3】」

2. 日時：令和3年6月24日 13時30分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（◎・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

井上主任安全審査官、堀口主任安全審査官、西内安全審査官、
藤川安全審査官

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子力工事グループ 副長◎ 他7名◎

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1 川内1号機 緊急時対策棟接続工事設工認に係る審査会合コメント
- ・資料2 川内1号機 緊急時対策棟接続工事設工認に係る確認事項に対する回答

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。原子力規制庁のニシウチです。それではこれからの川内原子力発電所の緊急時対策棟接続工事に係る施行のヒアリングを始めたいと思いますよろしくをお願いします。それでは九州電力のほうから説明をお願いします。
0:00:17	九州電力のゴタンダでございます。本日は、ヒアリングのご対応ありがとうございます。本当は説明につきましては資料二つ御用意してございまして、それぞれ資料の一番が審査会合いただきましたコメントの回答を2番が事前にいただいております。確認事項の回答について御説明をさせていただきたいと思っております。
0:01:00	九州電力のミヤザキと申します。それではまず資料(1)からご説明させていただきます。
0:01:11	まずコメントの場合1については後日回答とさせていただきます。コメントNo.2から別途させ、
0:01:19	御説明いたします。個目と2の内容ですけれども、区を今の姿勢に係る基本方針につきまして、連絡通路の耐震安全性評価で使用する物性値とも別途設定根拠限り適正化を検討する教材まして、こちらにつきましては
0:01:37	まず、既工認と呼び込みとしてですね、物性値の節水設定公共等につきましては、補足説明資料にてまず内容を説明させていただき予定で考えてございます。
0:01:50	はい。続いて、審査会合コメントの三番のDF確認事項の回答いたします。
0:01:58	九州電力の野口と申します。三番のDF確認事項ですが、地盤ばねを攻撃する前提条件が成立するかも含み置いて活動がないことを確認することという内容でございます。
0:02:12	そちらの回答になりますが、まず会合で御説明いたしました通り、まずは基礎版がね困っていることから、活動はしないと考えてございます。
0:02:24	それに加えて、基礎底面に対応する地震力よりも、基礎コンクリート頑張る系効率を上回っていることを確認してございます。
0:02:34	その資料現在作成中でしてエースその結果から活動が生じないことを定量的にお示しを別途しようと思っております。
0:02:44	審査会合コメントの回答は以上になります。
0:02:55	ノグチがございしますが、このまま資料(2)の確認事項に関する回答にしろやりくりセンター、
0:03:07	もういたしましょうか。すいません。
0:03:12	規制庁ニシウチです。では一応ここで切らせていただいて資料1について確認をさせていただければと思います。規制庁側から何か確認事項ありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:26	規制庁井上です。2番と3番について補足説明資料で説明していただくんですが、これはいつ頃でしょうか。
0:03:46	九州電力のイナトミです。御説明につきましては、次回のヒアリングまでには、内容を説明できるかと考えております地下Eが4月、
0:04:01	住民に説明あった李ですかね、ご都合のよろしい時に、こちらについて回答させていただこうと考えております。以上です。
0:04:10	規制庁井上です了解しました。
0:04:18	規制庁ニシウチですけども、ほかによろしいですか現状。
0:04:26	ホリグチですとNo.3についてなんですけれども書かれておりますように抵抗があるんでって話なんですけど店舗力っていうとこ滑りですから、マサ通やですね粘着力が読みするんですかここで売って抗力ってというのは
0:04:43	どんなことを考えたらいいってもらえますか。
0:04:47	はい。
0:04:48	うちせん断機。
0:05:00	はい、九州電力の野口でございますけれども、今回検討しております内容につきましては、コンクリートのせん断力と、設置される岩盤のせん断力、
0:05:13	家水平の地震力を上回っていることを確認する内容となっております。以上になります。
0:05:23	はい、ホリグチでせん断力だと言葉がちょっと違うかもしれませんが弾力と私はね、何着してることによる、やはりですね、付託することによってつめるだと粘着力ですからそれを思い出すんですけれども、
0:05:42	そのことでしょうか。
0:06:02	はい、九州電力の野口でございます。現在準備しております資料が先行プラントである四国電力さんの資料と同じような評価をしてございまして、材料が持つせん断強度を
0:06:19	を考慮した計算をしているところでございます。以上になります。
0:06:27	ホリグチでもう少し今般そうですね店頭の検討したところですね設置率があまり大きくないということもあって、これを聞きしてることもあるんですけれども、設置率があまりないということ
0:06:45	コンクリートとですね、岩盤のくっついてとこが剥がれるような力がかかっていてそのことが気になったこともあって、起電についてお聞きしてるんですけどその辺について何かございますか、こういうことでつけるのこうだというような形でありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:12	はい、九州電力の野口でございます。ええと、仰られてます通り粘着力も働いておりますので、設置時通話 67%でございますが、浮き上がることはない、こちらも考えております。以上でございます。
0:07:36	ホリグチです。
0:07:38	粘着力がどの程度がともかく見ることができるというふうに考えてそれを代行の一部として見るというその理解でよろしいでしょうか。
0:07:53	はい、九州電力の野口でございます。その理解で間違いございません。以上です。
0:08:02	ホリグチです。わかりました。以上です。
0:08:08	規制庁ニシウチですけども、ほかに規制庁が行うよろしいですか。
0:08:11	はい、じゃあ具体的にまた検討結果を補足説明資料で御準備いただいて、また確認をさせていただければと思いますのでよろしく申し上げます。では引き続き資料 2 ですかね。後ろについては青色の部分、今回コメント回答の部分を説明していただくという形で、
0:08:29	よろしいですかね。
0:08:30	はい、では青字の部分を多くの部分ですね今回コメント回答の部分について説明をいただければと思いますよろしく申し上げます。
0:08:40	九州電力のホリタです。資料(2)のほうなんですけども、回答としましては、薄い青色のところを配当本日回答しようと思ってるんですが、
0:08:54	検討の方針として、白抜きをのほうをちょっと記載しておりますので、そちらについても必要な箇所を御説明させていただければと思ってるんですけども、それでよろしいでしょうか。
0:09:06	規制庁ニシウチですどうぞ。
0:09:09	はい、承知しましてありがとうございます。それでは資料(2)のa. 01 号機緊急時対策恒設効率工認に係る確認事項。
0:09:19	に関する哀悼ということでご回答させていただきます。九州電力のホリタです。
0:09:25	まず平日自立確認事項の一番から
0:09:28	こちらは一番中身として二つの事項を確認事項がありまして、連絡通路を跨ぐ機器配管系の申請設備について、連絡通路内の手術する仮称(1)設計に用いるFRS及び建屋間相対変位設計等について説明することが一つ目で、
0:09:48	あと、添付資料 9-13-1、地震応答解析法を見ると、伊勢市の製法構内ねそこをマイナス α のばらつきを考慮した形成が誘発上下動モデルを用いて、連絡通路スツとあんな迂回浮き上がる場合の検討実施しているが、
0:10:06	夏上下動が連絡するなりの新設にあたりとか床応答スペクトルへの影響について説明することということで確認事項いただいております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:17	こちらに書いてある御回答なんですけども、具体的には別紙 1 のほうに図を載せて説明させていただきますが、
0:10:26	一つ目に関しましては、本申請の換気説明者一般ですが、空気、水蒸気浄化配管と機器配管がありまして、申請対象について、配管の支持する箇所に用いるFRS及び
0:10:43	例えば断層について別紙一、二で御説明いたしますし、失礼ですがニュアンス条件を考慮するについて方向のマイナスの形成について延長交番FRSばらつきを考慮した拡幅なしのケースと、
0:10:59	ここに載せておりますけれども、ケース内工あれっすそういったってしたものを別紙 2 で御説明いたします。
0:11:06	地域の方をお願いいたします。
0:11:11	一つ確認事項の主配管のサポート指示FRS及び建屋間相対変位についてということで御説明させていただきます。
0:11:21	理由は省略いたします。まずサポート指示についてですが、こちらの図 1 のほうに主配管のサポート指示値を示しております。
0:11:30	今回の申請対象ですが、非常用空気浄化配管少し太目の参照ページ示している配管とenishの青と緑の空気加圧配管の二つの配管を申請しております。
0:11:44	こちらの二つの配下に近いかについては通じるしてサポート指示値を
0:11:50	1 工事と二期工事の対象範囲がわかる形でお示しております。
0:11:56	続きまして、3 ポツにつきまして、設計に用いるFRSについてということで、本申請の責任をてるサーベランスについて連絡する急傾斜のFRSを載せております。
0:12:13	続いてですが、札幌にー8 右下の 2ー8 ページに飛びまして、
0:12:20	。
0:12:21	4 ポツの設計における建屋間相対変位がついてということで、本申請の設計の中建屋間相対品を表 1 に載せております。資本性の者一般 2 本ありましたが、2 ラインありましたが、最も高い値の
0:12:36	連絡する陳情がEL28.3mに敷設されますので、その 28.3mの相対変位を用いております、こちらに変位につきましては添付資料の 9ー12 の表 4ー3ー1。
0:12:52	今も載せておましてその再掲になっております。
0:12:57	別紙の 1 については以上になります。
0:13:01	今して別紙の 2 のほうに説明させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:06	地盤物性ばらつきを考慮した誘発上下動の機器配管系評価への影響ということであるツツキあれしたFRS
0:13:14	いずれ工認の設計で、
0:13:17	設計工事あっせん拡幅した横RSの比較を整理を行っております。
0:13:23	先に図を見ていただいたほうがいいのかと思いますが、UP2-10のほうで、
0:13:27	そのばらつきの絵をあれすると人のアップしたり壊れそう載せておまして報告時期を考慮した場合ですと、エプロンの発端で拡幅したペーパーレスになっておまして、およそ出庫予想も全体的な収益専用いて、
0:13:44	あと輻射本来効率のほうが、ばらつきを考慮した。
0:13:49	パレットより上回っているということを確認してございます。
0:13:54	ここここでとしましては、ジャンルでばらつきを考慮したレベル誘発上下動ケースの鉛直方向については、
0:14:04	一部の周期体では設計で用いられておりに用います設計用の床応答曲線回ることが認められておりますけど、耐震設計において考慮が必要な
0:14:16	以降ではないというふうに判断してございます。
0:14:21	こちらにつきましては以上になります。
0:14:27	一般別途資料を用いて後日説明するの、こちらの別紙1-2の見直しについては、
0:14:33	このまま続けてもよろしいでしょうか。
0:14:37	こちらで一旦切りましょう。
0:14:44	中小ホリグチあ続けてください。
0:14:47	落ちました。
0:14:48	以上です。
0:14:55	九州電力のミヤザキと申します。続きまして、今回コメント回答がございませんが、No.2No.3と御説明させていただきます。No.2ですけれども、こちら側の連絡通路につきまして許可と設工認における設計上の差異について、
0:15:15	命ずることまた最後ある場合は、設置地盤安定性評価等に影響を与えないことを説明すること。
0:15:23	いう人事項がございまして、こちらにつきましては、現在連絡するにつきましての設置許可と設計上の採用確認中でございまして、そちらの差異を整理していけばないことを御説明する予定で考えてございます。
0:15:38	続いて、コメントNo.3ですけれども、こちら該当連絡通路の市地盤支持性能について極限支持力度の設計及び設置根拠及び考え方について説明することとございまして、こちら先ほど資料1-6m2で説明した通りですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:55	デコンプについてにつきましては、補足説明資料を用いて御説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:16:05	はい、九州電力の野口でございます。続きまして事実確認事項 4 番の方針を御説明いたします。事実確認内容が遮へい体撤去について工事の方法を詳細に確認をする。
0:16:20	で、機構が既工認の耐震設計に影響を与えないことを確認しております。それに対する回答なのですが、遮へい体の撤去について現在確認しまして資料準備中でございます。
0:16:36	その工事の方法と三重津の変更が機構への影響、これを具体的に建屋の剛性と失点重量の減割合をお示ししまして影響がないことを確認して御説明する予定としております。
0:16:54	ねえ。
0:16:55	続きまして、事実確認事項 5 番になります。緊対棟の気密性の維持について耐震補強及びシール材をシール材の設計上の位置付けを整理して示すことを確認いたします。こちらにつきましては、THAI新規の観点からは、基準地震動 S_s に対して、
0:17:15	弾性範囲に収める設計としており、気密性を維持する設計としております。シール材につきましては、シール材あつ弱部及びシール材同士の接道接合部に関しては閉接着剤等を用いて適切に設計チェックをしております。
0:17:32	それによって気密性を高める設計としております。シール材は予兆設けているため、相対変位に対して気密性を損なうおそれとしない設計としております。こちらについても別途資料を準備中でしてその中に今お話しします内容を入れて資料準備をしているところでございます。
0:17:54	方針の確認で一旦 5 番まで御説明いたしました以上になります。
0:18:05	すいません九州電力の野口です。引き続き、今回コメント回答弁 6 番から続いて御説明をいたします。
0:18:14	6 番の確認事項が S_s2 の入力地震動について、元帥の考え方がやっぱりの整合性の観点から適切であることを確認をしますと、許可時におけるばらつきの考え方と、工認時におけるばらつきの考え方について整理確認してございます。
0:18:34	こちらについてですが、許可時の S_s に策定においては、2004 年の部門の地震の観測記録を抽出し、同地点の地盤物性を用いてはざと解析を実施したものになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:49	今回実施しております設工認における地震応答解析におきましては、地盤物性のばらつきを連絡通路地点の地盤条件をもとに設定しております。この方とことから、定量評価の不整合が生じていないと。
0:19:04	考えてございます。6番は以上になります。
0:19:12	はい。
0:19:17	駅探のホリタですねっていう確認事項7番についてです。中身として、変位の一応クラス別施設において緊急時対策所格好緊急時対策棟内の間接支持構造物が記載されていないが、このような整備課、
0:19:33	緊急時対策棟が間接支持構造物ではないのかということをお願いしております。それに対するファイブと回答といたしまして、美術館、技術基準規則46条におきまして、緊急時対策所を施設する要求があり、
0:19:50	緊急対策所は、我々としては、第2-1表の主要設備として記載しております。これについては、緊急対策所の設置許可のときからも同様の整理でして、漸移認可をいただいております指揮所等の
0:20:06	本人においても、緊急対策所隠し気象主要設備として記載しております。
0:20:13	今回の連絡通路工認では、休憩所も含めて、緊急時対策所各所拡張しまして、改めて緊急対策所を括弧緊急時対策棟内というものを設定するものでありまして、市長工認のときから、考え方に変更はございません。
0:20:36	はい、九州電力の野口でございます。続きまして、事実確認事項8番になります。
0:20:42	本当泰三検討対象の施設設備で建屋構造物の風過剰な地層する理由を確認してございます。
0:20:51	こちらにつきましては地震荷重と風荷重の比較を現在行っております。その結果から、風荷重の影響が軽微であることを確認しており、組み合わせを考慮する必要がないことを補足説明資料を準備しまして、
0:21:07	御説明する予定としてございます。
0:21:10	続きまして、事実確認事項9番です。
0:21:15	2.1 建物構築物、緊急時対策棟連絡通路の中で、基礎版は堅硬な地盤に直接設置し、その記載があるが、連絡通路が設置されている地盤は、健康の地盤なのか、健康な地盤堅硬な岩盤の提供と説明すること。
0:21:33	と思う。
0:21:35	内容でございます。こちらにつきましては、接地圧に対する十分な資力を有するとも意味で健康な岩盤との表現を用いているものでございます。特に堅硬な岩盤というものに対して計量しているものではございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:51	10 番に参ります。入力地震動の策定において、一次元波動論による応答と地震応答解析により基盤底面位置で算定すると記載がございます。
0:22:03	連絡通路の基礎、
0:22:09	期限バラバラにCL級岩盤第 1 ミリ売り込んでいることや、緊急時対策棟挟んでもリードが広がっていることから、一次元波動論から設定する地震は安全となるのか否かを説明してくださいという確認事項がございます。
0:22:26	こちらについては、検討の方針なのですが、一次元波動論による地震班について、以下の手法により妥当性を検討をしようと思っております。
0:22:38	まず 1 地盤物性を変更したケースで一次元波動論による解析を実施を検討してございます。
0:22:47	そちらについて公認で示している位置が波動論による解析結果と比較を検討しようと思っております。
0:22:56	それに加えまして指揮所工認での検討結果を利用したものと、いくつか①番に実施しました一次元の解析とあわせて御説明をしようと考えております。
0:23:12	もう 11 番に参ります。
0:23:15	時行政の根拠について説明をすることとあわせてこの表に記載の地盤情勢について、探し営業ベースに設定していると考えられるばA案系列の設定根拠についても説明することを確認をしております。
0:23:32	こちらについては、連絡通路の耐震評価で用いる解析用物性値の設定根拠につきましては別途補足説明資料を用いて説明する予定としてございます。
0:23:47	はい。
0:23:48	続いて 12 番に参ります。3 ぽつ 4 ポツに地盤物性のばらつき等を考慮した解析ケースではPS検層による地盤のせん断波速度本間耕 2km/sを基本としと記載ございます。
0:24:05	このボーリング孔がどのくらい反映されているのか確認をしております。
0:24:10	こちらにつきましても、ボーリング孔の反映箇所を速度は断面図に示した補足説明資料を準備してございます。こちらを用いて説明する方針としております。
0:24:22	続いてナンバー13に参ります。
0:24:27	地震応答解析の中の第 2 のさ、第 39 条において、別いちいちエネ庁項において、地盤物性のばらつきマイナス 1 のときに、誘発上下動モデルで検討してございます。
0:24:42	その理由について確認をいたしました。マイナス 1 のケースにおいては、ASR 燃えるの解析において設置率が 65%を下回っております。これに伴いまして誘発上下動モデルを用いて検討しているものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:03	その他のケースについては設置率が 65%を上回っており、誘発上下動モデルは 1 でございます。
0:25:11	続きまして 10 番です。地震応答解析結果において、誘発上下動モデルを用いる場合の接地率は、
0:25:20	鉛直方向入力における軸力と水平方向に入力における誘発上下動への誘発上下動による軸力の時刻歴上で、その最大軸力を考慮してたとすと記載をしております。
0:25:35	一発上下動による軸力の時刻歴と鉛直方向の軸のこの時刻歴を拡大図等を用いて確認をしております。
0:25:43	こちらについても、それぞれ時刻歴の造影補足説明資料に記載をしまして回答御説明する予定としてございます。
0:25:55	15 番に参ります。第 4-15 表、浮き上がりの検討で基本ケースの設置率が示してございます。
0:26:03	これに対して、誘発上下動モデルの接地率を確認いたしました。
0:26:09	誘発上下動用いたケース、Ss 一番 NS 走向のマイナス 1 のケースなんですが、こちらの設置率は 94.0%でございます。
0:26:21	16 番です。Ss 地震荷重ケースにおいて吹鳴方向地震荷重と鉛直方向地震荷重の組み合わせは組み合わせ係数法を用いての記載がございませぬ。
0:26:33	連絡通路の今回の評価において組み合わせ係数法適用することが安全側の設定となるのか、確認をしております。
0:26:42	こちらについては、接着と遠慮縁応力度について時刻歴はによる算出結果を検討をしております。
0:26:51	この結果が組み合わせ係数法を用いて算出した項に記載のある数値と比較して
0:27:00	組み合わせ係数法のほうが上回ることを御説明する予定としてございます。
0:27:06	続きまして 17 番です。
0:27:09	もう積雪荷重について地震荷重及び積載荷重の組み合わせ考慮されると記載がございませぬ。こちらについては確認をしております地震荷重と積雪荷重の比較を現在実施をしております。
0:27:23	積雪荷重への影響が軽微であることをそれに伴い確認しており、組み合わせを考慮する必要がないことを考慮している積載荷重に包絡されることを別途説明をする予定としてございます。
0:27:38	十八番に参ります。4.4. 1、解析モデルに関して、連絡通路基礎版と耐震のシェル要素の接合部の境界条件英語一番フォールトモデル化等について確認をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:55	基礎版については、セシェル要素で今回モデル化をしてございます。それに伴いまして地盤ばねと上部構造物の節夫をそれぞれ合意として評価をしているものしているものでございます。
0:28:08	これについても、応力解析モデルの総分解図も準備をしておりますので、それとあわせて資料提出する予定としてございます。
0:28:20	はい。
0:28:22	続いて 19 番ですね、面外せん断力に対する断面の評価応募について壁やね基礎盤ともに面外せん断補強金を称してございませぬ。
0:28:34	強制解約を求める際に、割増係数 α を取り込んでいる場合は、引張引張軸力の制限がございしますが、この点を考慮しているのかどうか確認いたしました。
0:28:46	これについては今回発生する最大額意欲はコンマ 4 何ニュートンでございます。これに伴いまして、割増係数 α を考慮して解析を実施してございます。
0:29:01	20 番です。建家の形状及び寸法の変更について有意な影響はないことを説明することをこちらは旧形状の地震応答解析の添付資料 2 の内容になります。
0:29:17	こちらについては地震応答解析において急傾斜の形状寸法の変更、それと重要増減を考慮した解析結果をお示しする予定としてございます。
0:29:32	休憩所の既評価に有意な影響が及ばさないことをそちらで御説明をしようと考えてございます。
0:29:40	21 番になります。固定荷重、及び積載荷重並びに地震荷重が 5 減について有意な影響がないことを説明をいたします。
0:29:52	こちらについても休憩所の応力解析の言って形状寸法の変更と重量増減を考慮いたしまして、起業家に有意な影響が及ばさないことを、別途、資料を用いて御説明する予定としてございます。
0:30:09	金、
0:30:11	確認事項のご説明は以上になります。
0:30:17	はい、では規制庁側質問コメント等ありますか。
0:30:28	規制庁井上です。8 番のところ、
0:30:32	風荷重の影響は軽微であることは資料に、確かにありましたんで見てたんですが、なしというのが表のところ、唐突に出てきたんで、表の脚注か何かで
0:30:48	風荷重の影響が軽微であるためとか、そういう説明を入れていただければそれで結構です。
0:30:57	はい、九州電力ノグチでございます承知いたしました。
0:31:03	規制庁イノウエです。もう 1 点。
0:31:08	19 番。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:10	のところで、
0:31:11	引張軸力の制限 0.2 ニュートン
0:31:15	平方ミリメートルと。
0:31:18	で書いてあって今回発生する最大引張ログが 0.47。
0:31:23	と言うと超えてしまってるような気がするんですけどこれでよろしいんですたっけ。
0:31:30	はい、九州電力はノグチでございます。こちらがすいませんね説明が不足しておりましたが、確認事項のほうがA引張軸力の制限が 2.0 に言うと、確認ができましたので、コンマ 47 入湯も引っ張り力に対しております計測考慮できると考えてございます。以上になります。
0:31:52	規制庁イノウエですわかりました。
0:32:06	はい。
0:32:09	規制庁ホリグチですナンバー5 のですけれどもこれシール材は設置から使ってるってことですが、これって工場でみんな接着ですがそれと現場で着手することとところもあるんですか。
0:32:26	はい、九州電力の野口でございます。すいません、別途確認をいたしまして回答いたします。
0:32:33	この答えのときでもお願いします。以上です。
0:32:43	規制庁ニシウチですけども、ほかにコメントありますでしょうか。
0:32:49	よろしいですか。
0:32:51	それでは資料 2 についての確認も今日時点ではこれで終わりですかね。はい。ありがとうございます。
0:33:01	今日の説明事項資料 1 と資料 2 について一応これで全部かと思えますけども九州電力か何か追加の説明補足等ございますでしょうか。
0:33:11	はい、こちらは九州電力の野口でございます。ただいまご説明をいたしました。確認事項リストのナンバー8 番について、すいません補足がでございます。
0:33:26	先ほどコメントいただきました風荷重についての記載になるのですが、後期な添付資料 9-9、機能維持の基本方針という回答の資料がでございます。
0:33:39	こちらは今確認できますでしょうか。
0:33:46	規制庁ニシウチです少々お待ちください。はい。すいません。はい。
0:34:23	規制庁ニシウチですすみません、ページ数だけもう一度よろしいですか、9-9
0:34:29	はい。実が 9(1)-9-6 ページになります。
0:34:40	はい。期生とニシウチで説明をお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	はい、九州電力の野口です。今ご覧いただいています。9-9-6 ページに耐震計算における積雪荷重及び荷重の設定フローという図がございます。そちらの中に風荷重のか、影響が大きい施設課という項目がございます。
0:35:05	まして、こちらがNoIに落ちてくるものだと今回評価をしてございます。住人に記載をしております、風荷重により自圧面積が相対的に小さい。またコンクリート構造物の自重が大きい施設であることから、今回こういうふうな評価の内容となっております。
0:35:26	すいませんそれに加えて、一つ前のページ、9-9-5 ページになるのですが、そちらに検討対象の施設設備等がございます。
0:35:37	その中にもう積雪荷重のところに緊急時対策等の連絡通路記載ございまして、そこにも注1の注書き送ってございます。掛けた10については、その最後のほうで風荷重については36メーター。
0:35:57	達成率積雪荷重については30設置の平均的な積雪荷重を与えるための気密を考慮し適切に算出すると積雪荷重が積載荷重に包絡されることから、地震会議及び積載荷重の組み合わせを考慮すると。
0:36:14	記載をしているところでございます。
0:36:18	はい。
0:36:27	規制庁イノウエです先ほどの話はこの表がなしで書いてあって、
0:36:34	XIを読んでも、
0:36:39	さっきの
0:36:41	6 ページ、次のページの
0:36:44	ところに当てはまるっていうのがよくわからなかったんで
0:36:48	注1の中にでも、
0:36:52	風の影響は少ないということを書きいただければいいかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
0:37:00	はい、kJ電力のノグチでございます。確認してすいません聞きたい内容を検討させていただきます。以上です。
0:37:09	はい、お願いします。
0:37:14	。
0:37:15	規制庁ニシウチです他に九州電力から何か補足追加説明事項ありますでしょうか。
0:37:22	すみません九州電力のイナトミです。本日ですねちょっと青海きの部分、青色で塗った部分が一応回答させていただきまして、白抜きの部分は今日方針を御確認させていただくというふうに平成についておりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:39	おそらく趣旨として我々が検討するとしての内容がちょっとずれてないかっていうことを御確認いただくものだというふうに考えておったのですが、10番のところで、すみません。
0:37:55	ちょっと解析が必要になるか否かっていうところの
0:38:01	ちょっと回答の仕方をしてございまして、
0:38:04	こちらについては、
0:38:06	今日方向を少し確認させて考えておりましたは、
0:38:14	ご質問いただいた。
0:38:16	例えば今日いらっしゃるかとかというのは、
0:38:20	いかがでしょうか。
0:38:22	はい。
0:38:23	はい。
0:38:46	規制庁ニシウチですけども、
0:38:49	本件については、どういった視点でその方向性を確認されたいのかということももう少し具体的にちょっと中身を含む中身を踏まえながら説明いただくことができますか。
0:39:04	はい、九州電力イナトミです。本件につきましては、事象解析を行うにあたって、水平性層が妥当かどうかという観点でのご質問だというふうに認識しております、こちらについては我々としては1次元でですね。
0:39:20	隣に今回申請いたしまして、連絡するの北側一部岩盤がそうとなっておりますがその岩盤と一部経営マンメイドロック部分もございまして。そこを一律地盤の物性で評価することが、
0:39:37	いいのかっていうふうにちょっと我々の末の質問としてとらえておりますので、実際はその部分的にはマンメイドっていうのも存在しますのでそちらのほうの物性を入れてですね、一次元のほうで一応比較をしておりますしてまして、十分妥当であるという方法について御説明を考えております。
0:39:55	そちらの方向で今、説明をしようと考えておりますが、そういう方向性で被水ごと持ってますということを確認をさせていただきたかったという案。
0:40:06	事象にございます。
0:40:09	以上です。
0:40:25	規制庁ニシウチです。御説明は承知しました。
0:40:32	ちょっと本日のヒアリングでこれを質問した者がちょっと出ていないこともあるので一応こちらの中でもですね、今日のいただいた資料をチーム内で共有をして改めてこの方向性についてはちょっと自分らでまず確認はさせていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:49	九州電カイナトミです。承知いたしました。ありがとうございます。
0:40:55	系統に周知です。他に何か現時点でありますでしょうか。
0:41:05	途中でテラモトゴタンダでございます。いずれのPRAにはございません。はい。規制庁ニシウチです。リオ返しました。規制庁側からほかに全体通して何かありますでしょうか。よろしいですか。
0:41:19	はい。ありがとうございます。それでは東京の確認した点も含めてまた改めて資料を御準備いただければと今日ご回答いただいていないましよう抜きの部分についてもまた準備ができ次第ヒアリングを確認をさせていただければと思いますよろしく申し上げます。
0:41:36	それでは今日のヒアリングはこれで終了としたいと思います。ありがとうございました。
0:41:41	先ほどございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。